

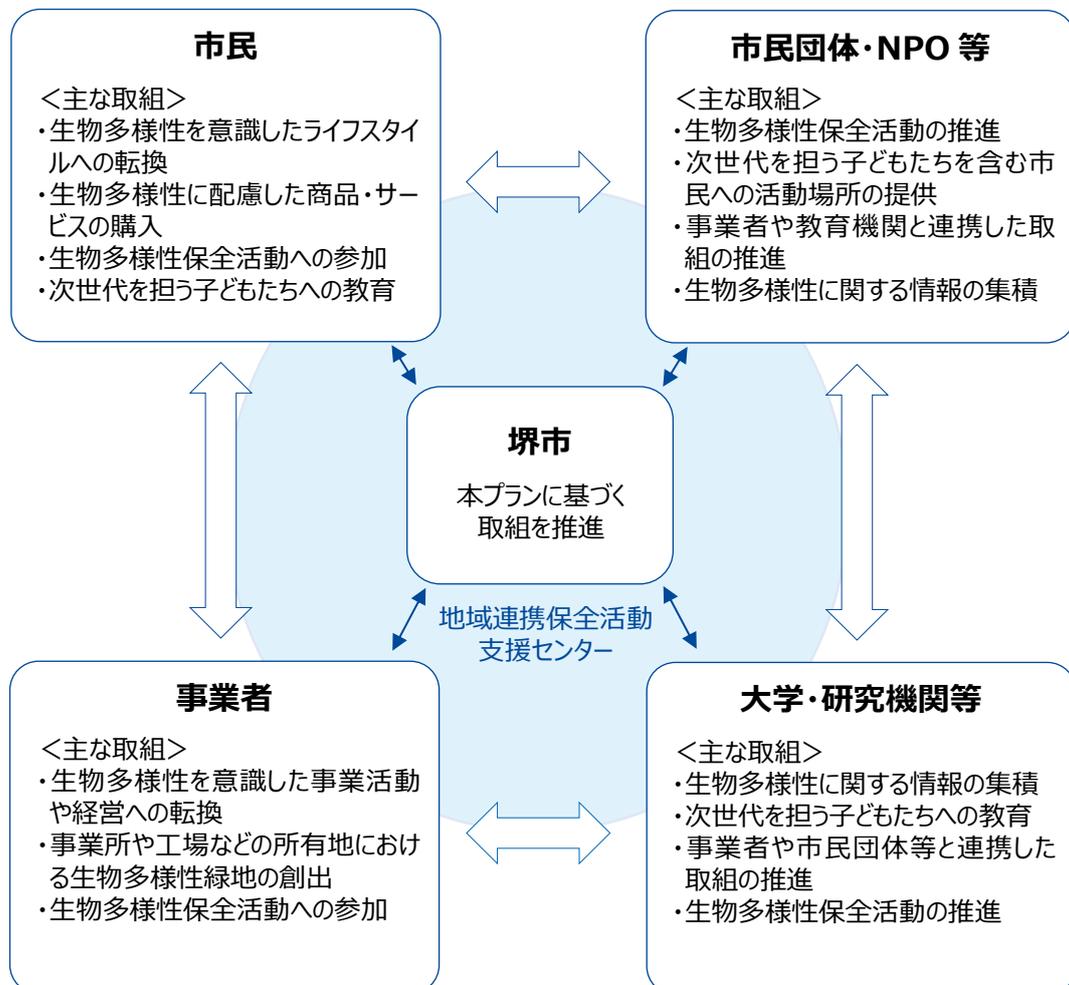
## 第5章 プランの推進体制と指標

### 1. 推進体制

ネイチャーポジティブを実現するためには、市内のすべての主体が生物多様性の保全と自然資源の持続可能な利用に取り組む必要があります。それに加え、各主体が連携・協働して取組を促進していくことも重要です。

また、生物多様性地域連携促進法に基づく、地域連携保全活動支援センター（生物多様性ウェブサイト「堺いきもの情報館」）の機能を活用し、各主体の情報交換や連携を促進します。

なお、生物多様性の現状や本プランに基づく取組の進捗状況については、堺市環境基本条例に基づく、年次報告書「堺の環境」において公表します。



## 2. 指標

本プランの評価を行うため、4つの戦略の指標及び2030年度までに達成すべき目標値を設定します。

戦略	指標	現状値	目標値
戦略1	自然共生サイトの認定件数	—	※1
戦略2	侵略的外来種の防除または外来種に関する啓発活動の実施回数	—	5回/年
戦略3	「生物多様性」という言葉を知っている人の割合（認知度）	72.4% (2022年度)	90%
	生物多様性に配慮した消費行動を選択している人の割合※2	11.0% (2022年度)	20%
戦略4	堺いきもの情報館のページビュー数	約11,000件/月 (2021年度)	20,000件/月

※1 30by30（陸と海の30%以上の保全をめざす取組）の達成に向けた生物多様性保全に資する地域に係る国内の認定システムのことであり、現在制度の検討中であるため目標値設定は行わない

※2 令和4年度第1回市政モニターアンケート結果より：「生物多様性の保全に配慮して生産・流通された商品を選んで購入している」市民の割合